

2019 年度 FIT 入試第 2 次選考概要 (A 方式)

<参考>

2018 年 9 月 15 日 (土) に実施された慶應義塾大学法学部 FIT 入試(A 方式)の 第 2 次選考の概要

は、次の通りです。

2019 年度 FIT 入試第 2 次選考概要 (A 方式)

1. 模擬講義の概要

- 講義のテーマ：言語と社会を考える一言語政策とは何か？
- 講義の概要：

1. 言語とは何か

2. 言語政策とは何か

3. 言語権について：言語と平等

4. 欧州統合の理念：単一化に対抗する多様性の維持促進

5. 言語と格差

6. 経済から見る言語

7. 日本がとるべき言語政策とは？

8. まとめ

* 大学 1 年生が受講して理解できるレベルの講義（50 分）を行う。

2. 論述形式試験の概要

- 論述の設問内容：

講義の内容を踏まえたうえで、今後の日本に必要な言語政策のあり方について、あなたの見解を述べなさい。

- 解答の形式：A 3 レポート用紙形式・字数制限無し。

- 試験時間：45 分

3. グループ討論の概要

- テーマ（法律学科）：

「現在、日本は人口減少社会に突入し、持続的経済成長を続けるためにも、男女共同参画と女性の社会進出は不可欠です。これまでに政府はさまざまな取り組みを行い、近年では働き方改革を掲げ、女性の働きやすい環境作りを推進してきた結果、この 30 年間で女性の就業率は上昇しました。しかし男女間での格差が依然として存在するなど、問題も少なくありません。資料 1、2、3、4 を参考にし、こうした女性の社会進出を抑制する現象を生む制度的・社会的・文化的な要因について

多角的に議論を行ってください。」

内閣府『男女共同参画白書 平成 29 年度版』から 4 つの図表を資料として問題文に添付

- テーマ（政治学科）：

国立社会保障・人口問題研究所の予測では、国の総人口は 2015 年から 2065 年までの 50 年間に、1 億 2709 万人から約 4000 万人以上減って、8808 万人になるとされています。生産年齢人口の減少が深刻化し、少子化が進む日本において、その対策の一つとして移民受け入れを拡大するべきだ
という意見があります。その一方で、欧州諸国の例にあるように、たとえば治安悪化などの理由を
あげてそれに対する抵抗も強く見られます。日本は今後、移民受け入れを大幅に拡大するべきで
しょうか。また移民が大幅に増えた後には、日本は多民族国家としてのアイデンティティを強めてい
くべきでしょうか。多角的に議論を行ってください。

- 司会者の有無：監督者は、進行とタイムキーピングのみを行い、受験生の自由な議論にまかせる。
- 討論時間：約 45 分
- その他：討論の開始前に一人ずつ 2 分で自己アピールを兼ねた自己紹介を行う。